

まちづくり交付金 事後評価シート  
浦和駅周辺地区

平成21年12月

埼玉県さいたま市

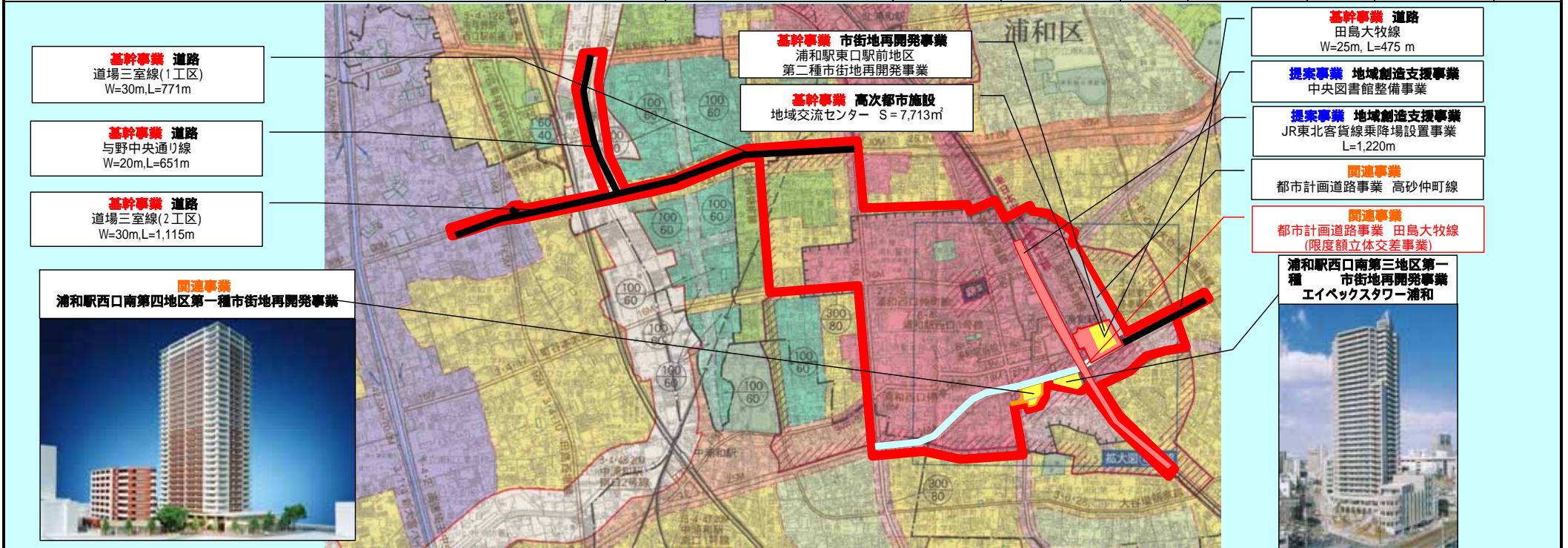
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	浦和駅周辺	面積	148ha				
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	24,639百万円	国費率	40.0%				
1) 事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(道場三室線(1工区)、道場三室線(2工区)、与野中央通り線、田島大牧線)、 高次都市施設(地域交流センター)、 市街地再開発事業(浦和駅東口駅前地区)								
		提案事業	地域創造支援事業(JR東北客貨線乗降場設置事業、中央図書館整備事業)								
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	道路(浦和西口停車場線)	浦和駅西口南高砂地区再開発事業の遅れのために、道路内に敷設するCCBOXや歩道などを整備するのが困難なため取りやめる。		影響なし					
			高質空間形成施設(JR浦和駅東西連絡通路)	鉄道高架事業の事業進捗の遅れが影響し、交付期間内での実施が困難なため中止する。		影響なし					
			高質空間形成施設(東通り)	関係権利者との合意形成に不測の日数を要するため取りやめる。		影響なし					
		提案事業	事業活用調査(東仲町地区総合基本設計)	地元住民によるまちづくり組織との調整不足により、交付期間内での実施が困難なため。		影響なし					
			地域活用調査(地域戦略プラン策定)	他調査の調査項目と重複し、データの引継が可能と認められたため取りやめる。		影響なし					
			地域創造支援事業(公共地下駐車場進入路整備事業)	施工方法等の検討に時間を要し、交付期間内に事業を完了することが困難なため取りやめる。		影響なし					
まちづくり推進事業(浦和駅周辺まちづくり推進事業)			地元住民によるまちづくり組織との調整不足により、交付期間内での実施が困難なため。		影響なし						
まちづくり推進事業(浦和西口商店街活性化計画)	商店街活性化推進事業補助制度があり、商店街の独自性、自立性尊重の観点から事業目的の重複化と判断し中止する。		影響なし								
新たに追加した事業	基幹事業	なし									
	提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	JR浦和駅利用乗客数	人/日	74,293	平成15年	80,000	平成21年	80,000	あり	駅東口に集客施設が整備されたこと、道路網の整備により駅へのアクセス性が向上したことによると考えられる。	平成22年4月
	指標2	商店街利用度	点	40/100	平成16年	60/100	平成21年	52/100	あり	市街地再開発事業等において集客力が向上したが、道路網の整備進捗の遅延もあり、周辺の商店街までの波及効果が予想より少なかった。	-
	指標3	JR浦和駅の歩行者東西交流数	人/日	9,549	平成10年	12,000	平成21年	15,500	あり	市街地再開発事業が完成し駅東西に大型商業施設が整備されたこと、駅東口の便利な場所に公共施設が整備されたことによると考えられる。	-
	指標4								あり		
	指標5								あり		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	街のにぎわいアンケート調査による評価	5段階	3	平成16年			4.2		浦和駅東口駅前の整備前と整備後の比較で、駅前の賑わいが出てきたなど、事業評価が得られている。	-
	その他の数値指標2	東通り商店街歩行者通行量	人/日	6,550	平成16年			8,000		駅前再開発により集客力が増加し、隣接する商店街にも波及し通行量が増加したと考えられる。	-
	その他の数値指標3	路線バスの走行環境(最大の遅れ時間)	分	15	平成16年			12		道路ネットワークが整備されつつあることにより、路線バス等の自動車交通の走行環境が向上した。	平成23年度中
	その他の数値指標4	南与野駅利用乗客数	人/日	14,950	平成16年			15,230		道路ネットワークが整備されつつあることにより、駅までのアクセス性が向上し、駅利用者が増加したと考えられる。	平成24年4月
4) 定性的な効果発現状況	本事業により駅東口のまちのイメージが大きく変わった。(住宅地、商業地)浦和駅東口に集客施設が整備され、浦和駅を中心に東西地域で機能集積が図られたとともに、利用者数も増えている。東口駅前広場の整備により、西口発着から東口発着のバス路線ができ、西口駅前広場の混雑緩和につながっている。										
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし			
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし			

## 様式2 - 2 地区の概要

浦和駅周辺地区(埼玉県さいたま市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 都心地区にふさわしい商業機能の再生と交通機能の改善、にぎわいのある駅周辺地区を構築する。 交通環境の改善 商業・文化とゆとりのある機能性に優れたまちづくり 商店街の活性化とともに、風格あるまちなみの構築	JR浦和駅利用乗客数	人/日	74,293(平均)	平成15年	80,000	平成21年	80,000	平成21年
	商店街利用度	点	40/100	平成16年	60/100	平成21年	52/100	平成21年
	JR浦和駅の歩行者東西交流数	人/日	9,549	平成10年	12,000	平成21年	15,500	平成21年



**まちの課題の変化**

- ・街路の未整備区間の存在、鉄道立体化の遅延により、浦和駅周辺の総合的なまちづくりが完了していない。
- ・既存商店街と一体となった賑わいづくりが十分ではない。
- ・新たに東口地下駐車場が整備されたものの、その周知が十分にできていない。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・駅周辺での話題性ある取組み、魅力的な空間を維持するための取組みを進める。
- ・市民などを巻き込みながら、既存商店街と連携した商業活性化の取組みを進める。
- ・浦和駅東口地下駐車場の周知をし、利用を促進する。